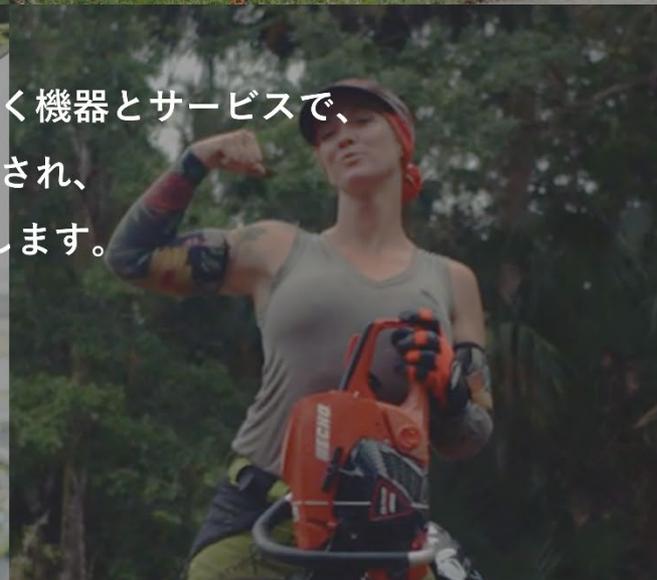
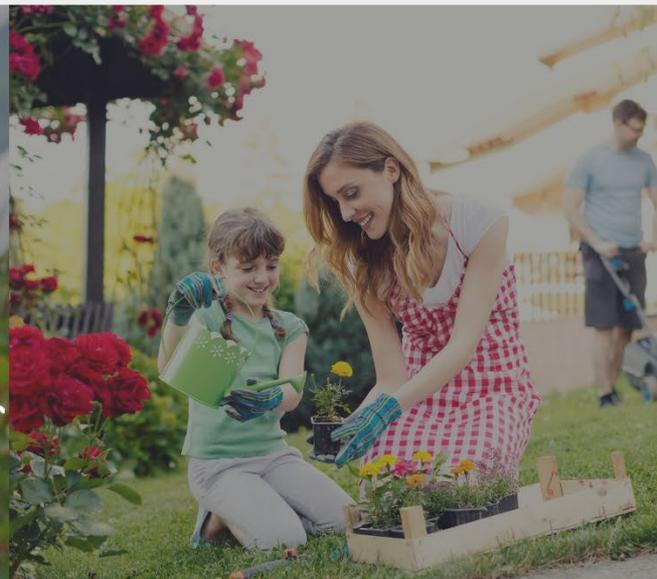


A large, multi-colored arc that curves from the top center towards the bottom right corner of the page. The arc is composed of several segments in shades of green, brown, yellow, and orange.

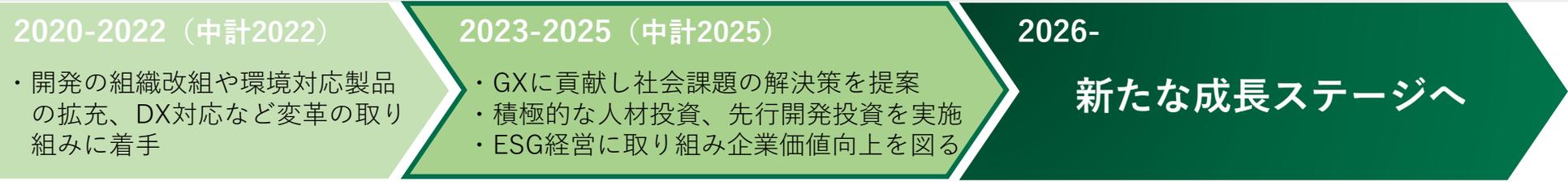
# 中期経営計画2025 方針と事業戦略

# やまびこの存在意義

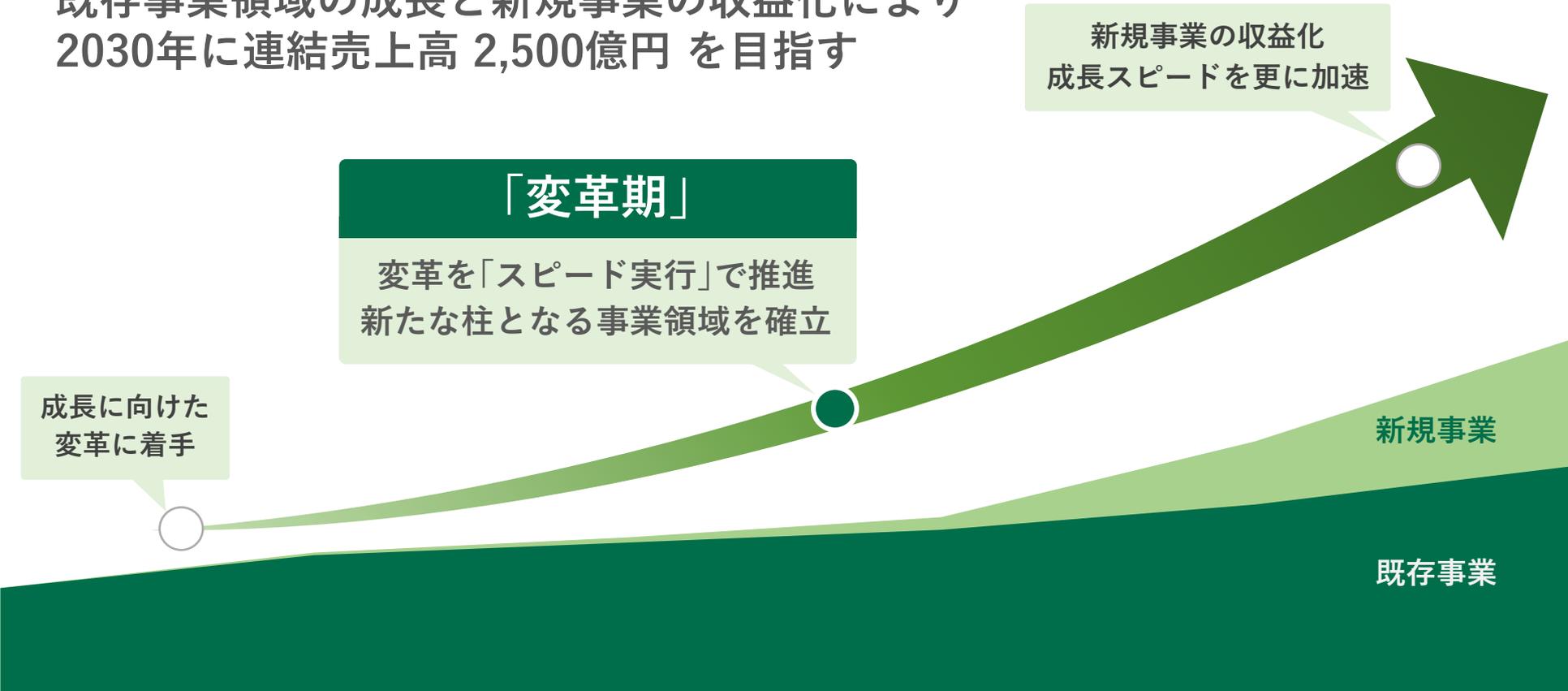


私たちやまびこグループは、  
世界最高レベルの環境技術と安全・安心で革新的な良く働く機器とサービスで、  
社会と人々に信頼と感動をもたらし、期待され、  
豊かな自然と共生する輝く未来創りに貢献します。

# 中期経営計画2025の位置付け



既存事業領域の成長と新規事業の収益化により  
2030年に連結売上高 2,500億円 を目指す



## 数値目標

	2022年12月期 実績
売上高	1,561億円
営業利益率	5.6%
ROE	8.6%

2025年12月期 目標	
	1,700億円
	7%
	10%

〈前提となる為替レート〉

ドル	128円
ユーロ	138円

130円
140円

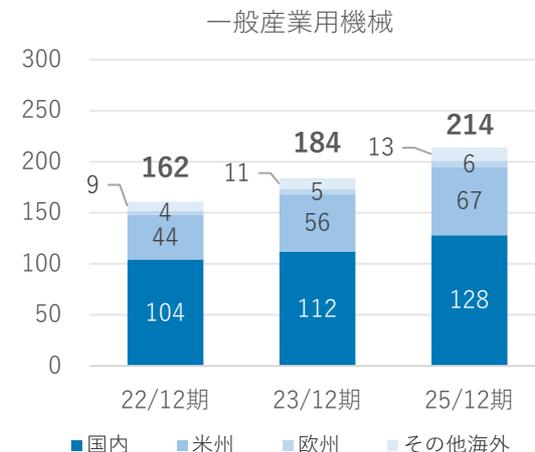
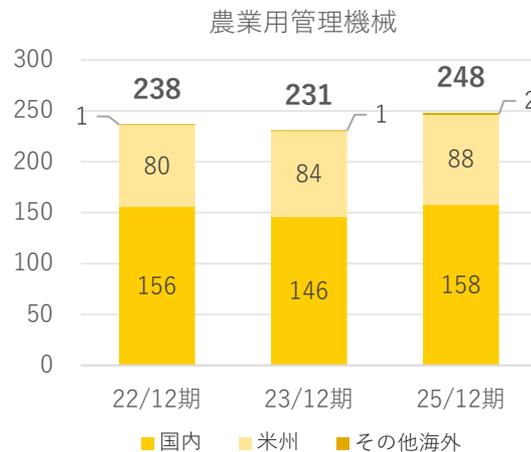
### 2025年度 目標達成の背景

- 売上高は、小型屋外作業機械の欧州と国内の販売が増加することに加え、国内と米州の一般産業用機械の伸長を見込み売上高1,700億円を計画。
- 収益面では、生産拠点の戦略的再配置による生産効率の改善に加え、DXを活用した米国市場の販売商流の変革による収益性向上などに取り組み、最終年度に営業利益率7%、ROE10%を達成する。

# 売上高目標（セグメント・地域別）



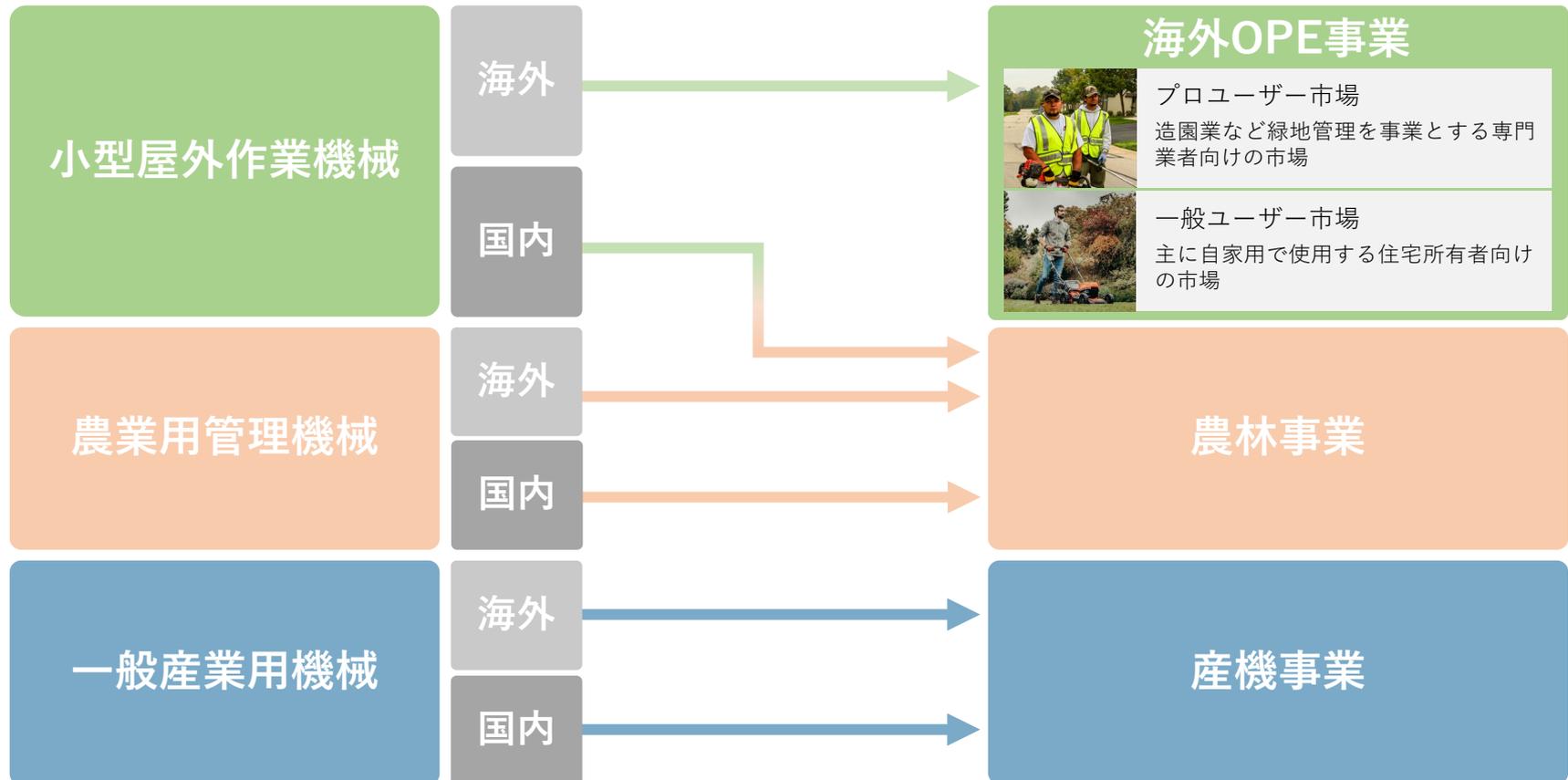
## セグメント・地域別売上高



※主要セグメントに含まれない「その他」の売上が、22/12期 20億円、23/12期 22億円、25/12期 45億円 あります。

## 事業戦略 事業の分類

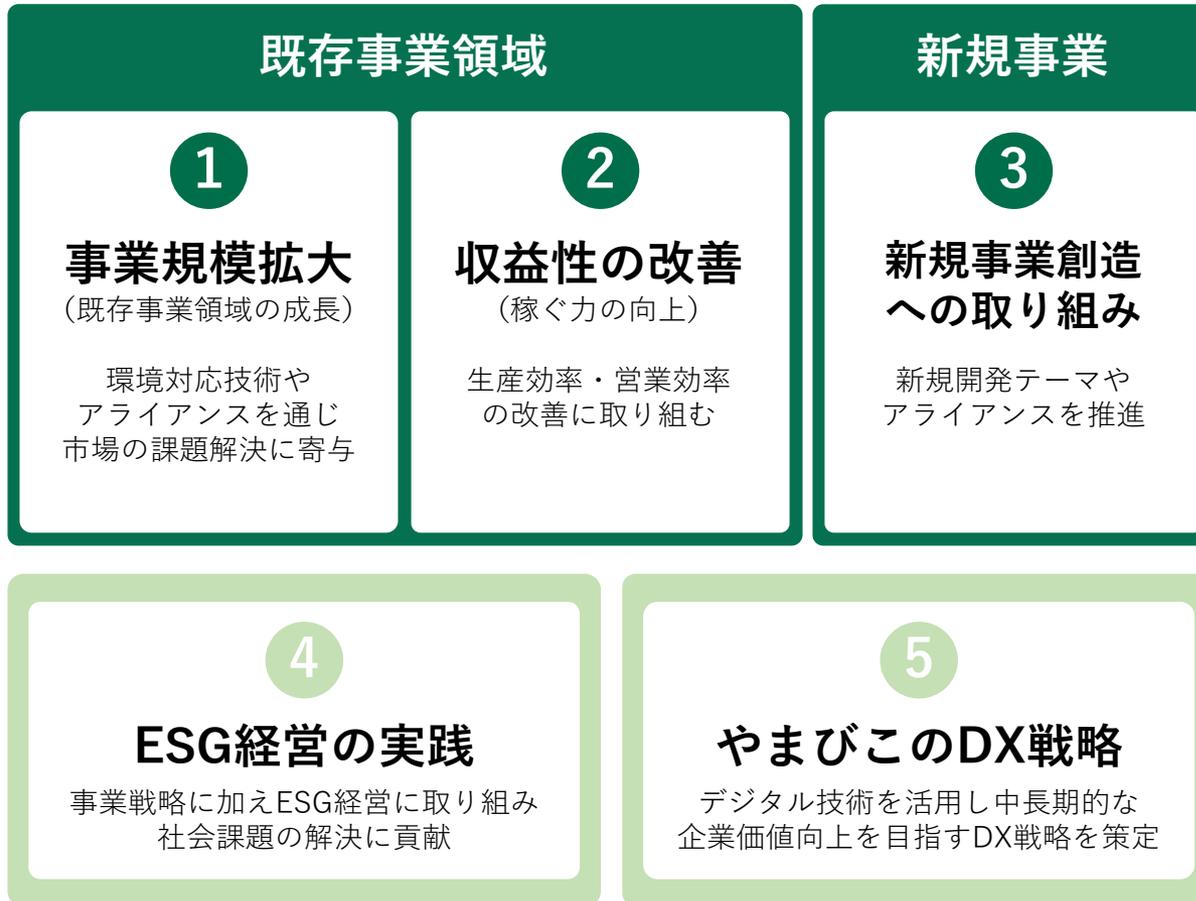
- 事業戦略の説明にあたり主力事業の市場別戦略や活動内容を明確にすべく分類を実施
- 海外OPE※1事業にプロユーザーと一般ユーザーという購買層別の市場を新たに定義



※1 OPE : Outdoor Power Equipment

※2 決算短信・有価証券報告書等で報告するセグメントは変更いたしません

## 企業理念と経営目標の実現に向けて、事業戦略に基づく諸施策に取り組む

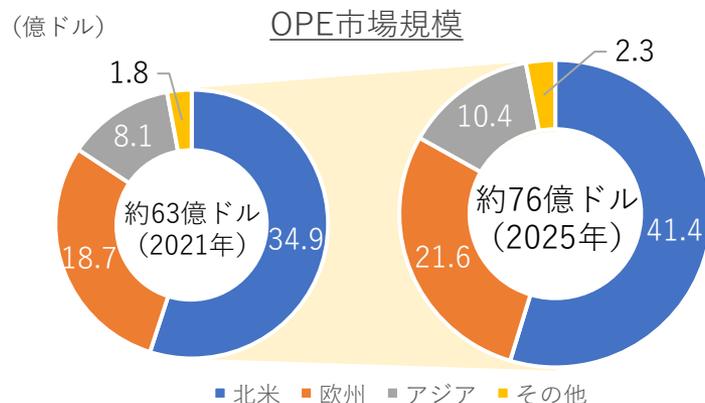


# ① 事業規模拡大（海外OPE事業）

- ・一般ユーザーのバッテリー製品需要の増加に対しラインアップを拡充し販売を強化
- ・バッテリー製品では作業ニーズを満たすことが難しいプロユーザーに対して引き続き作業効率と環境性能に優れたエンジン製品を提供し続ける

## 市場概況(一般)

- ・北米市場が成長を牽引しOPE市場は拡大が続く
  - 米国・カナダで芝生・ガーデンケア文化が充実
  - バッテリー製品への買い替え需要が増加
  - 緑地管理業者の増加
- ・経済成長に伴う緑地関連支出の増加を背景にアジア市場が拡大



対象機種：ハンドヘルド製品（手持ち・背負って使用するOPE製品）  
 出典：MarketsandMarketsを元に当社作成

## 重点施策

### 【北米市場】 【欧州市場】

- ・ユーザー別戦略の推進

#### 【プロユーザー】

- ・市場ニーズを満たすエンジン・バッテリー製品のラインアップの充実

#### 【一般ユーザー】

- ・バッテリー製品の需要増加に対応したラインアップの拡充

### 【アジア市場】

- ・購買力の高まる事業者向けに高付加価値なプロユーザー向け製品の販売を強化

OPEバッテリー製品  
販売台数比率

**20%**  
(2025年)

## ① 事業規模拡大（農林事業）

- ・成熟する国内市場に対し、市場が抱える社会課題の解決に寄与する製品を開発
- ・林業におけるトップメーカーとして、森林整備の社会的な要求の高まりに呼応した製品を迅速に市場投入するべく他社との協業を積極的に推進

### 市場概況(一般)

#### 【農業市場】

- ・農業就労人口の減少と高齢化の進行
  - 農業就労人口は減少が続き、65歳以上が約7割を占める

#### 【林業市場】

- ・国内の森林整備の社会的な要求の高まり
  - 国内の人工林の多くが樹齢50年を超えて **CO2吸収量が低下**
  - 一般的に樹齢10年～40年の樹木のCO2吸収量が高く、**CO2吸収量の維持など気候変動対策においても森林整備は喫緊の課題**

### 重点施策

#### 【農業市場】

- ・高い安全性と作業性、環境技術を備えた製品の開発と収益性の改善
  - ラジコン草刈機
  - 56Vバッテリーベースの電動農機など

#### 【林業市場】

- ・**森林整備需要を捉えた施策を推進**
  - 林業市場向け製品・サービスに注力
    - ・大型チェーンソーの拡販
    - ・伐木競技支援を通じたブランド力向上
  - 伐木事業者との業務提携
    - ・国内林業の『儲かる林業』実現に向けて製品とサービスの供給で貢献

# ① 事業規模拡大（産機事業）

- ・ 環境負荷低減と作業効率の向上を目指し、電動化・ハイブリッド化、再生可能エネルギーを取り入れた環境配慮型システムの開発を推進
- ・ 現場管理や関連サービスの作業効率向上に貢献する遠隔監視のシステム開発を推進

## 市場概況（一般）

### 【国内市場】

- ・ 就労者の減少・高齢化が進む
- ・ 防災・減災・国土強靱化のための建設需要増加

### 【海外市場】

- ・ 発電機、溶接機市場の販売台数は増加が続く
- ・ 建設・採掘現場における底堅い需要が継続
- ・ 欧州を筆頭に世界的な環境対応製品ニーズ上昇



※対象機種：ディーゼル発電機・ディーゼル溶接機  
 対象地域：北米、欧州、アジア、中南米、豪州、アフリカ、中近東  
 外部調査機関データおよび一部当社での類推により作成

## 重点施策

### 【国内市場】

- ・ 環境負荷低減と作業効率の両立
  - 現場管理や関連サービスの作業効率向上に貢献する稼働管理システム開発の推進
  - 現場が必要とする環境データの取得・提供

### 【北米市場】

- ・ 販売・サービス・部品サポートなどの充実
- ・ 需要増加に応え発電機の供給体制を向上すべく生産能力を強化

### 【欧州市場】

- ・ 環境性能を武器とした製品の拡販
  - 環境意識の高い欧州でハイブリッド溶接機を拡販

## ② 収益性の改善

### 「稼ぐ力」を高め、持続的な成長を確かにする

#### 海外OPE事業

- ・ DX活用により米国子会社における販売商流の  
変革に着手し収益性の向上に取り組む
  - 米国販売店約6,500店の内、約2,000店と直接取引を行う
- ・ 生産拠点の戦略的再配置を行い生産効率改善
  - OPE製品の生産拠点を見直し、効率的な生産体制に再編

#### 国内農林事業

- ・ 農機の収益性改善
- ・ アフターマーケットビジネスの拡充
- ・ ブランディング強化
  - 3ブランド戦略の見直し
  - 伐木競技支援を通じたブランド力向上

#### 産機事業

- ・ 生産拠点の戦略的配置により生産能力を増強し需要拡大に対応
  - 需要増加に応え発電機の供給体制を向上すべく生産能力を強化

#### 収益性を高め経営目標を達成

営業利益率

7%  
(2025年)

ROE

10%  
(2025年)

### ③ 新規事業創造への取り組み

社会のGXを成長の機会と捉える  
 主要市場※に開発拠点を設置し3拠点間の連携により新規事業創造を実現

#### 発電・蓄電システム



アライアンス先と進める  
 各種（高電圧・低電圧）  
 ハイブリッド発電システム

#### DX & IoT



稼働時間が管理可能な屋外作業機や  
 遠隔モニタリング機能付き発電機  
 を活用しYAMABIKO LINKを事業化

#### 新規開発テーマに加え 共同開発案件も積極的に推進

昨年は開発の組織改組や  
 本社にイノベーションセンターを  
 開設するなど研究開発体制を整備

本社イノベーションセンター



米国バッテリー  
 R&Dセンター



やまびこヨーロッパ



アライアンスを通じて  
 OPEエンジンに最適な  
 eFuel（合成燃料）の開発

#### CNエネルギー



ロボット製品の開発に加え  
 アライアンスによるロボットの  
 多様な活用の可能性を提案

#### ロボット

※主要市場：日本・北米・欧州

## ④ ESG経営の実践

### サステイナブルとなるESG経営を実践し中長期的に企業価値を向上

事業活動を通じて、環境、就労人口不足などの社会課題の解決に貢献するとともにガバナンス体制の運用と深化、情報発信の充実に継続して取り組む

#### Environment (環境)

- GHG排出量の削減目標を定め削減策を着実に実行
- 環境負荷の低い製品を開発・販売し市場の環境負荷低減に貢献

#### Social (社会)

- 多様な人材の活用に加え人材育成、社内環境整備など人的資本投資を継続
- 安全・安心なものづくりで作業事故を低減
- 農業・林業の次世代育成支援を通じて業界の発展に貢献

#### Governance (企業統治)

- ガバナンス体制の運用と深化
- ESG情報開示の拡充
- 情報セキュリティ体制の充実

## ESG. 環境対応

### ◆やまびこグループの気候変動対応方針

- 気候変動対応を経営の最重要課題として取り組む
- 海外OPEにおいて高い作業効率を有し環境規制に適合したエンジン製品やバッテリー製品のラインアップを拡充することに加え、農林事業と産機事業においても環境負荷低減と作業効率を両立した製品の開発に引き続き取り組む

### ◆GHG削減目標を設定し排出量の削減に取り組む



### ◆情報発信の充実（TCFD提言に基づく開示・CDPスコア）



TCFD提言に賛同しホームページに掲載

URL : <https://www.yamabiko-corp.co.jp/sustainability/tcfd/>

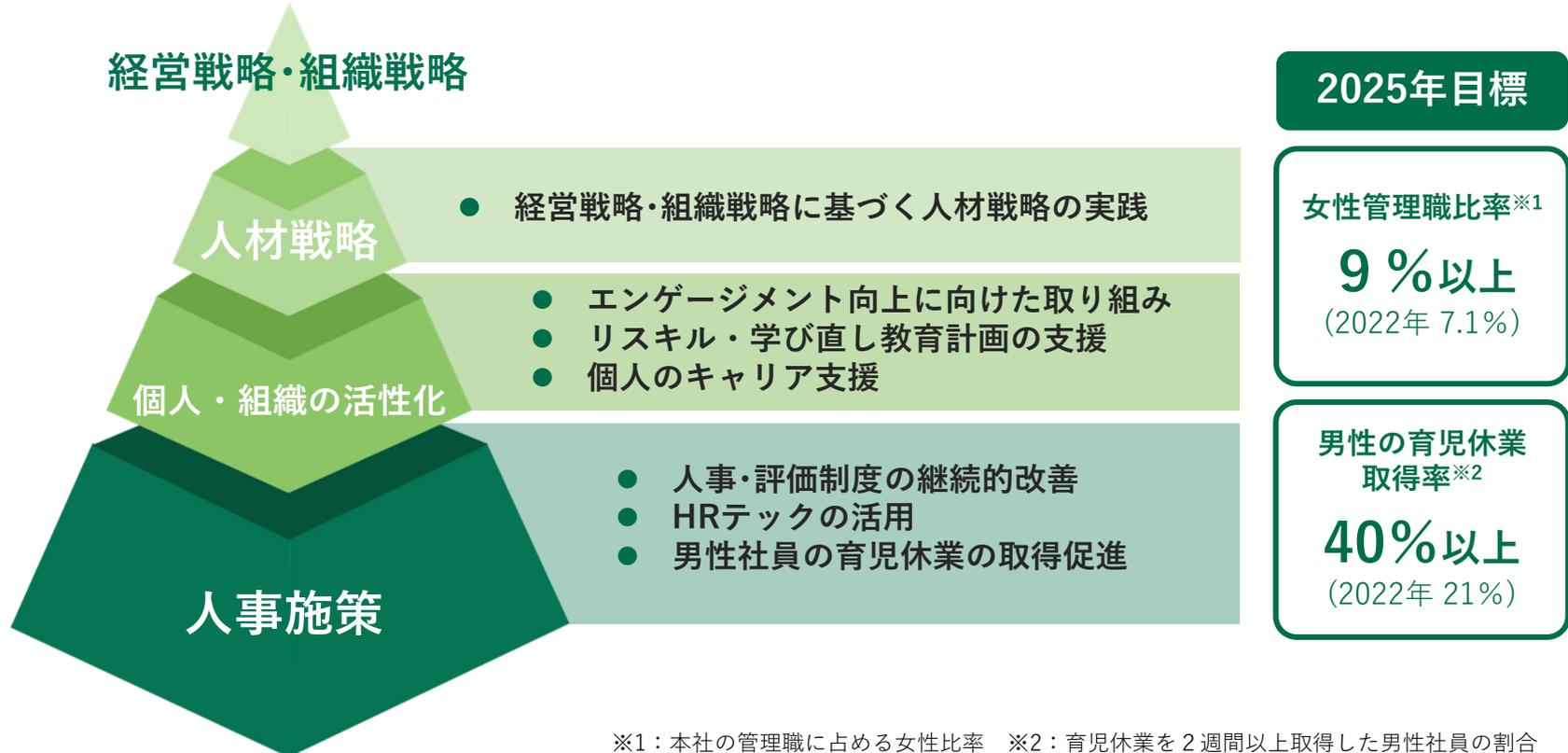


CDP気候変動レポートにおいて「B-」スコア

CDP：世界中の企業や都市に対して、気候変動対応の戦略や温室効果ガス排出量削減の取り組みを A から F スコアで評価

## 多様な人材の活用に加え人材育成、社内環境整備など人的資本投資を継続

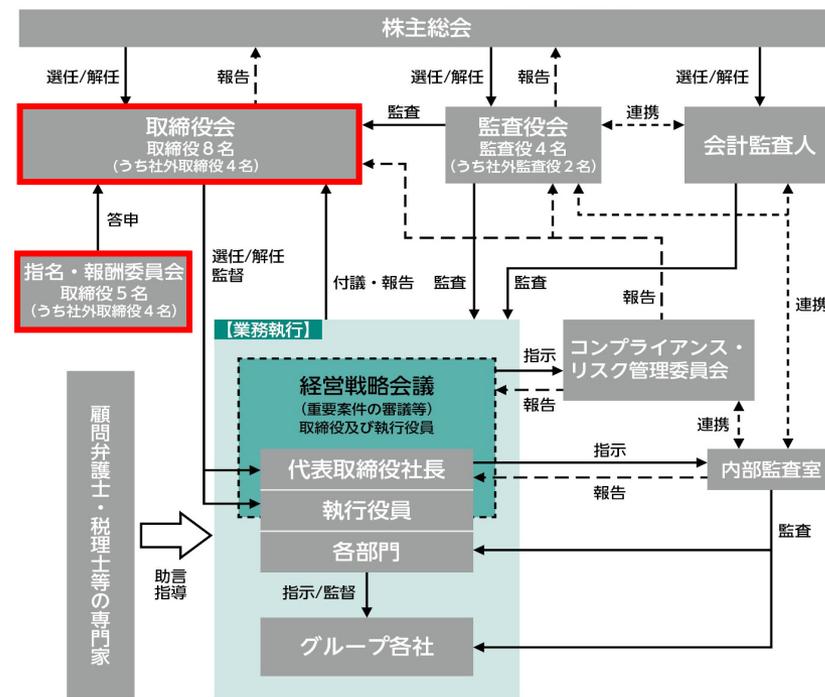
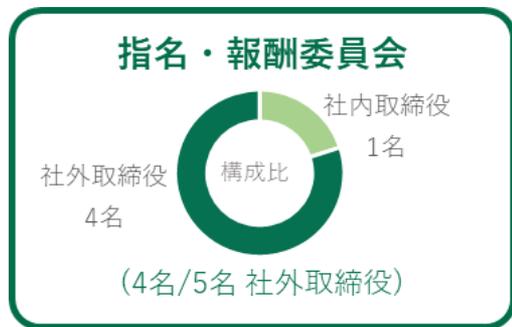
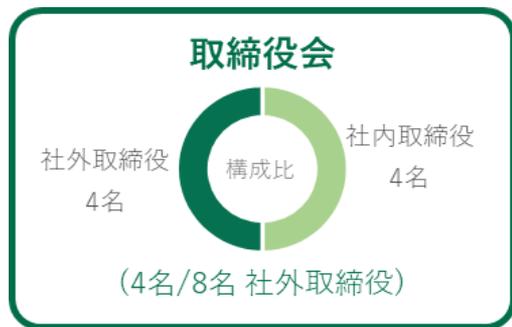
- 経営戦略・組織戦略に基づく人材戦略を立案・実践し、関連する情報開示を促進
- 全ての従業員が生き生きと働ける環境整備に取り組み、従業員一人一人の能力を最大限に引き出すとともに組織の活性化に繋げ中長期的な企業価値向上を図る



## ESG. コーポレート・ガバナンス

### ◆持続的な企業価値の向上を支える強固なガバナンス体制の運用と深化

- ・ 大きな事業環境の変化に対応すべく、半数を独立社外取締役で構成しガバナンスを強化
  - 取締役の多様性と専門性を確保しスキルマトリックスで開示
- ・ 独立社外取締役が過半数を占める指名・報酬委員会
  - 経営の健全性と実効性を確保し、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図る



※ガバナンス体制は2022年3月末より同体制で運用中

## ⑤ やまびこのDX戦略

デジタル技術を革新的な生産性向上に活用しコストダウンと効率化する「DT1」  
 既存ビジネスを変革しデータによる付加価値を加えて収益を拡大する「DT2」  
 DT1・DT2を通じ新規ビジネスを創出し新たな収益の獲得モデルを目指す「TR」を実現  
 また、戦略に基づいたデジタル人材の育成にも注力

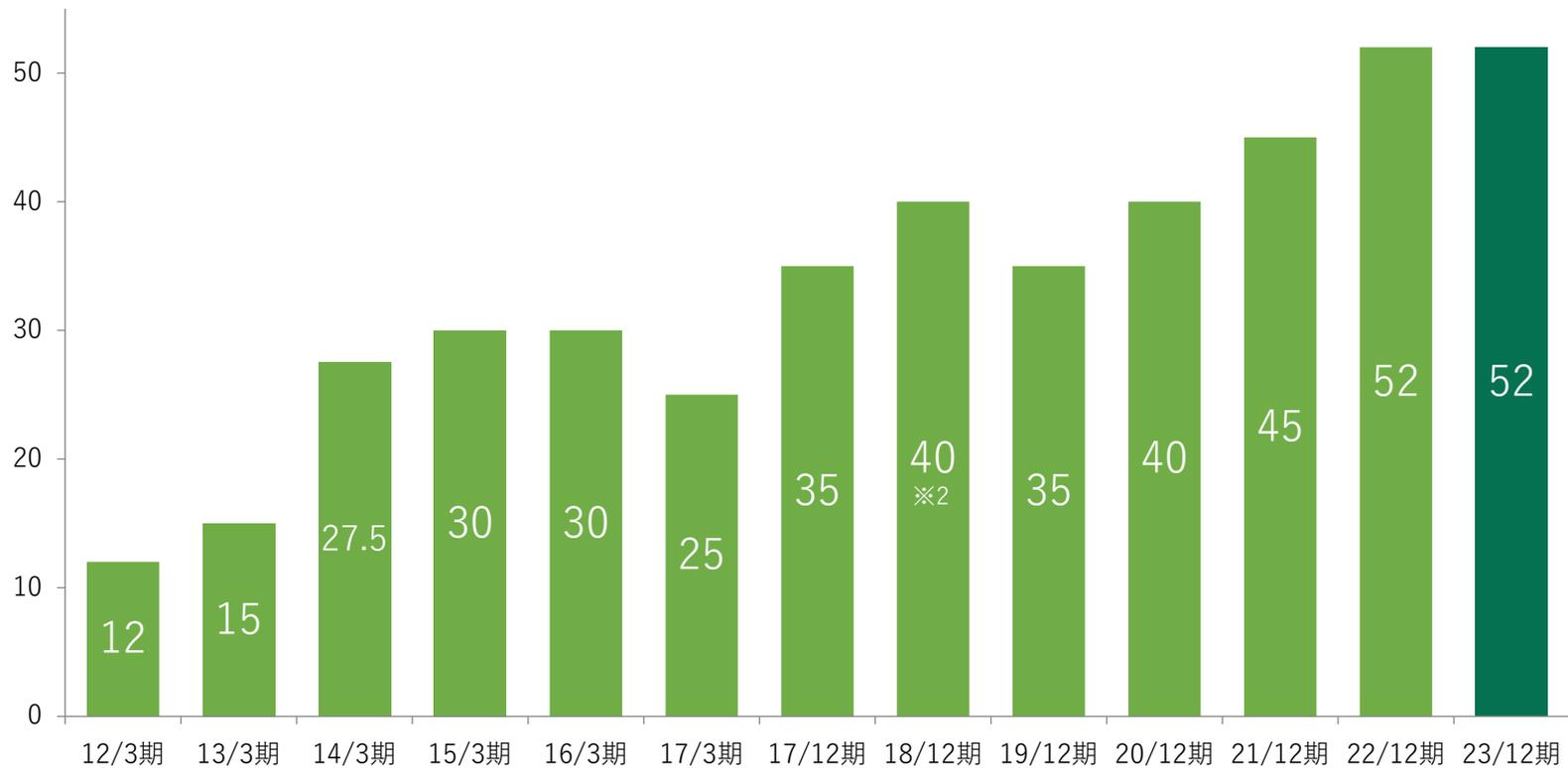
戦略キー	取り組み事項	内容
DT1	業務自動化分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務可視化／分析、業務プロセスの標準化</li> <li>・業務自動化（RPA等）の活用</li> </ul>
	経営革新分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹システム改修（部品表共通化/原価計算高度化/情報分析基盤構築）</li> <li>・業務データ可視化、分析支援</li> </ul>
	工場革新分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産設備稼働情報の収集/分析/フィードバックによる業務の最適化</li> </ul>
DT2	販売革新分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外販売/流通の最適化とポータルを活用した新製品とサービスの販路構築</li> </ul>
TR	新規ビジネス創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脱炭素/環境保全/地域防災の対応/労働就労人口の減少と高齢化等に対応する一般産業機械 製品の遠隔稼働モニタリングサービスの拡充</li> </ul>
人材育成	デジタル人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全社員のデジタルリテラシー向上</li> <li>・実践的デジタル活用人材育成</li> </ul>

※詳細は当社ホームページ (<https://www.yamabiko-corp.co.jp/dx-strategy/>) をご覧ください

## 株主還元政策

## 過去の配当実績に基づき、安定的な配当を継続

- 経営環境や業績および財務状況を勘案するとともに、株式市場の動向も注視して総合的な還元策を検討

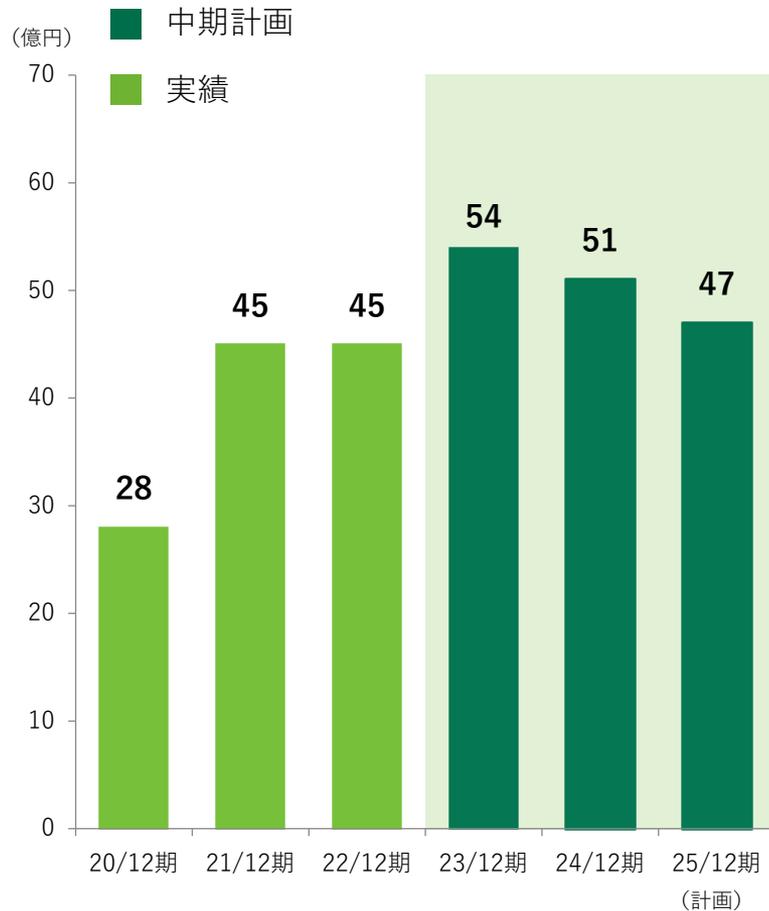


※1. 2015年10月1日付で株式分割を行っております。各期を比較しやすいように、株式分割考慮後の金額を記載しております。

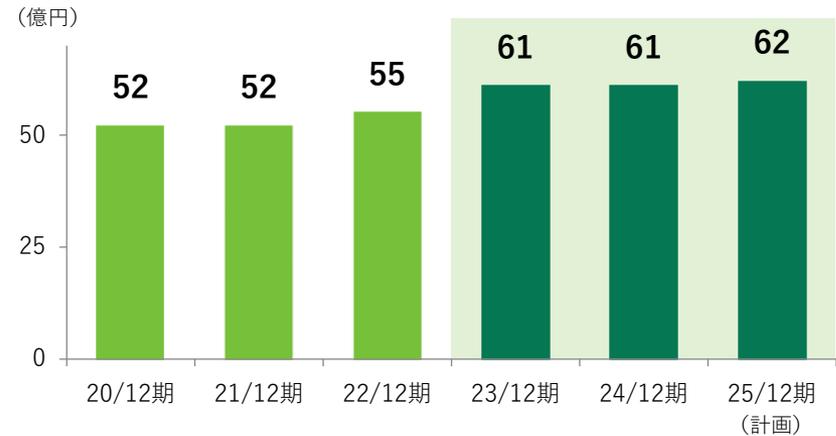
※2. 設立10周年記念配当5円を含みます。

# 設備投資・研究開発費・減価償却費

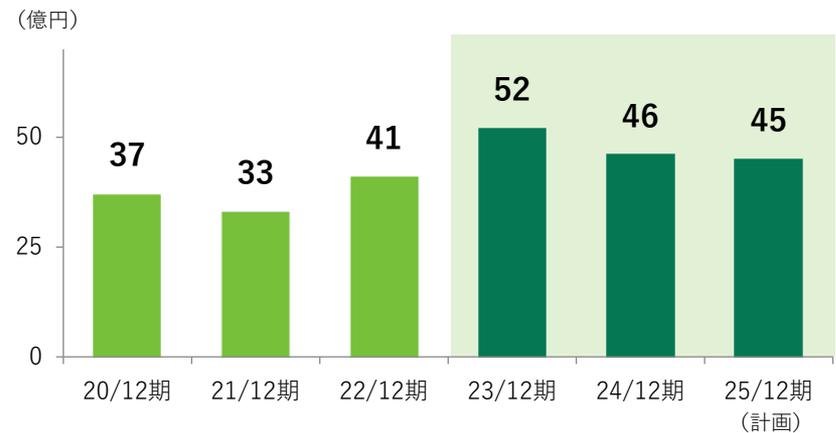
## 設備投資



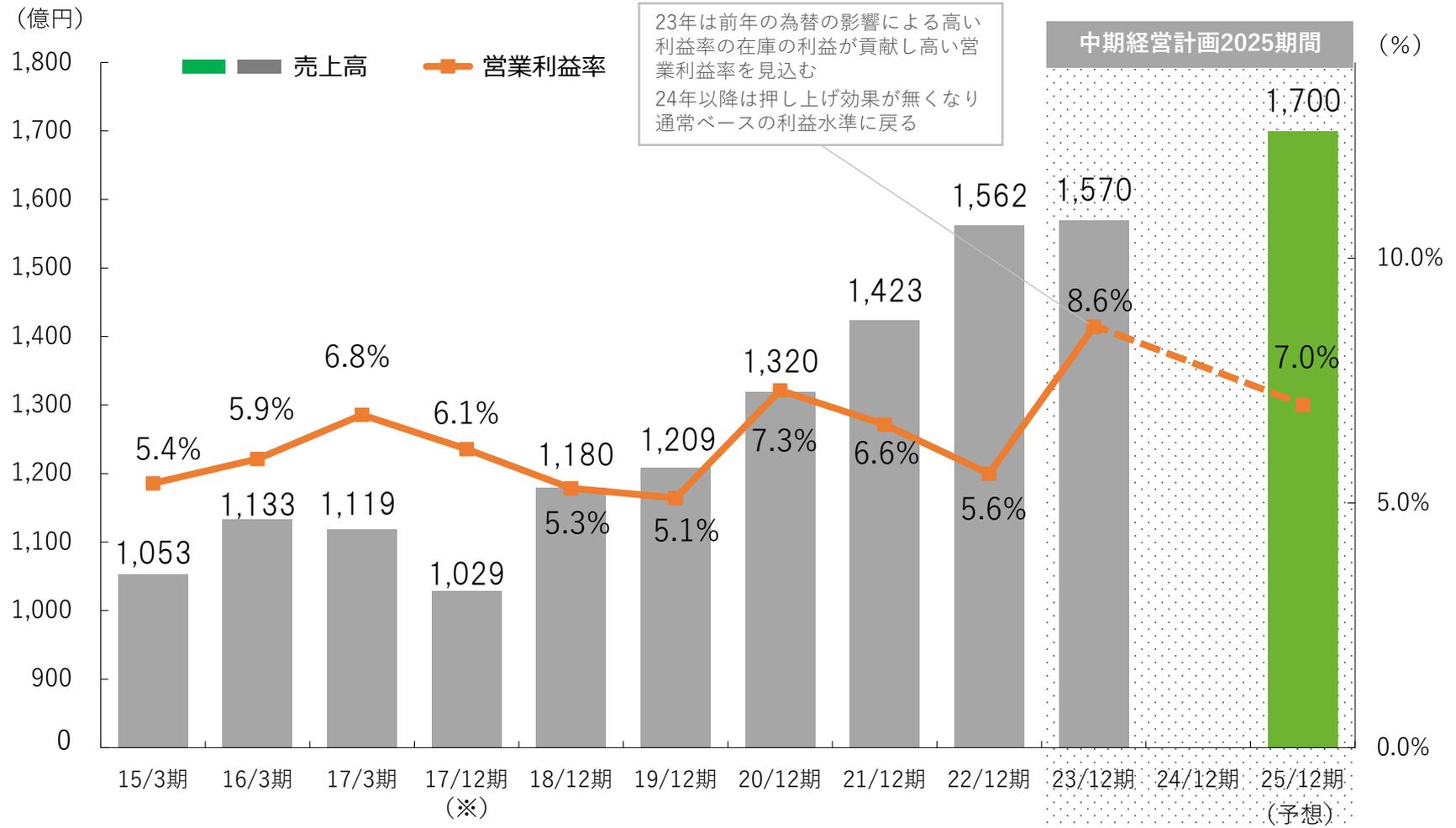
## 研究開発費



## 減価償却費



# 業績推移



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

## お問い合わせ先

株式会社 やまびこ 企画・経理本部 経営企画部

〒198-8760 東京都青梅市末広町1-7-2

e-mail : [ir6250@yamabiko-corp.co.jp](mailto:ir6250@yamabiko-corp.co.jp)